

自分の頭で考え決断すれば儲かる

J・P法という投資法はこれまでの多くの投資法よりはるかに合理的であり、実用的な投資法です。(この点は次第におわかり頂けるはずです)

とすると、投資家は当然こう思うはずです。

「そんないい投資法を何故、縁もゆかりもない赤の他人にタダで教えるの？」

「何か下心があるはずだ！」

と考えるのが常識です。株で損をする多くの投資家は、この常識が欠落しています。株の世界では昔から海千山千の詐欺師が手ぐすね引いてこの手の投資家が網にかかるのを待ちかまえています。

かつては私もバカでした

私、昔はかなりの馬鹿でした。(今でもあまり賢くはありませんが・・・)株式投資に関する本を片っ端から買い込み、ケイ線の秘法と称する本や巻物の類まで大枚を投じて買い込み実践に適用してみました。結果は惨憺たるものでした。

考えて見れば当たり前のはなしです。前回は申し上げたように、絶対確実に儲かる方法があれば、それを人に教えるよりも自分一人でこっそり儲けた方がよいに決まっています。

株で儲からないから教祖になったのでは？！

本を出したり、人に教えたりするのはご当人が株式投資だけでは生活できるほど儲ける自信がないからだと思えるのが妥当です。

私の周りにも株で失敗したから投資顧問を開業したとか証券会社をリストラされたので株の本を書いたとかいう人が結構います。

私の下心とは・・・

私が株価分析の手法を無料で公開するのは、一つの具体的な投資法を叩き台として広く世間に公表することにより衆知を集め、より完成度の高い投資法を完成しようと志すからです。衆知を結集し第一級の株価分析システムを完成する、これが私の下心というか目論見です。

だからこのメルマガは株価分析ソフトを売りつけるためのものではありません

安心してお読み下さい。そして思い切り批評して下さい。

今回も一つの投資法を叩き台として提供します。これについてできるだけ多くの御批判御意見を頂戴できれば幸せです。

相場急落時の逆張り投資法

仮説：下げ続けた相場がさらなる悪材料の出現により急落した場合、信用取引の追い証により、実態の悪化以上に売り込まれるケースがある。このような場合、需給の悪化から過度に売り叩かれた銘柄をバスケット買いすれば短期間に反動高を取れる可能性が高い。

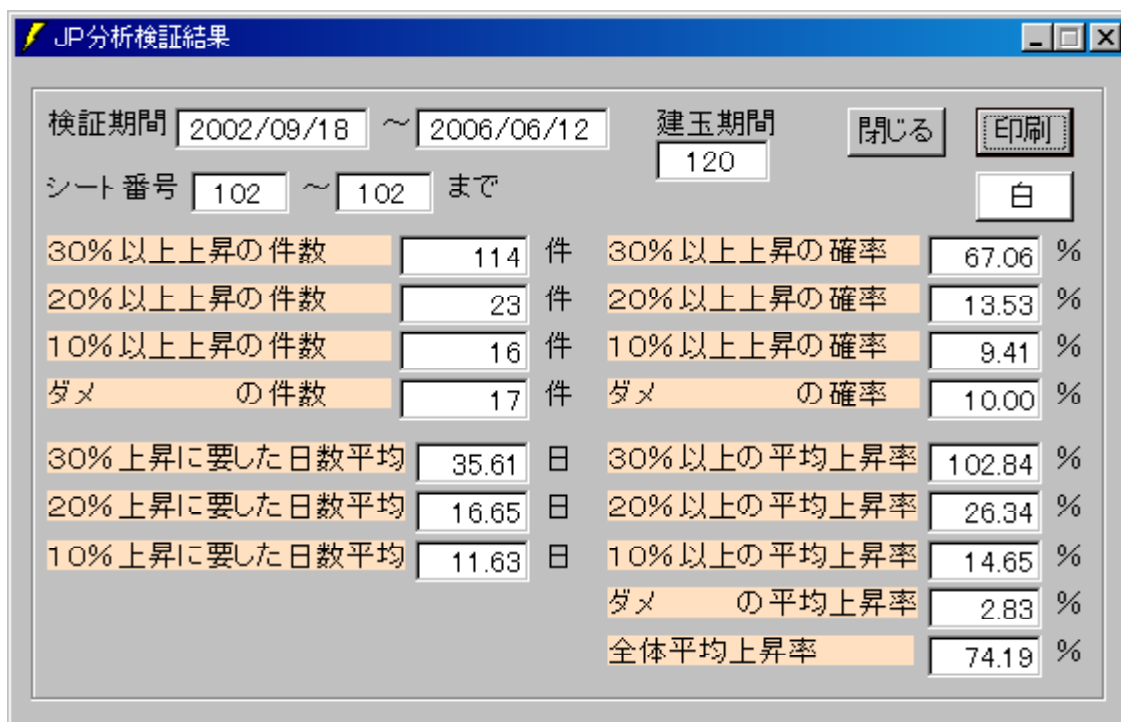
仮説の数量化（J・Pシートによる条件付け）

コメント		急落時の買い銘柄選択条件																			
短期弾性値	以上		短弾	向き		最高値	周期		出来高比率	以下											
短期弾性値	以下	-15	中弾	向き		最高値/安値	以上		当日終値	以上											
中期弾性値	以上		長弾	向き		最高値/安値	以下		当日終値	以下											
中期弾性値	以下	-25	MAV	向き		最安値	周期		何日前の条件とするか												
長期弾性値	以上		短期M	向き		最安値/高値	以上		貸借倍率	××週前											
長期弾性値	以下	-35	中期M	向き		最安値/高値	以下		貸借倍率	以上											
MAV指標	以上		生短弾	向き		長コスト/前日安値	以上		貸借倍率	以下											
MAV指標	以下		生中弾	向き		長コスト/前日安値	以下		最安値周期②												
短期M指標	以上		生長弾	向き		長コスト/前日高値	以上		安値/最安値	以上											
短期M指標	以下		短コスト	向き		長コスト/前日高値	以下		安値/最安値	以下											
中期M指標	以上		長コスト	向き		生短弾/短弾	位置		日柄	以上											
中期M指標	以下		短/長コスト	位置		終値/高値	以上		日柄	以下											
生短弾性値	以上		短コスト上	下抜ナ		終値/高値	以下		最高値周期②												
生短弾性値	以下		長コスト上	下抜ナ		終値/安値	以上		高値/最高値	以上											
生中弾性値	以上		短長DC後日柄	以上		終値/安値	以下		高値/最高値	以下											
生中弾性値	以下		短長DC後日柄	以下		新値	周期		日柄	以上											
生長弾性値	以上		短長GC後日柄	以上		安値更新本数	以上		日柄	以下											
生長弾性値	以下		短長GC後日柄	以下		安値更新本数	以下		騰落レシオ	周期											
最安値	周期		短弾/中弾	位置		高値更新本数	以上			以上											
最安値比率	以上		中弾/長弾	位置		高値更新本数	以下			以下											
最安値比率	以下		短弾/長弾	位置		足取り	5本設定			向き											
最安値日柄	以上		陽線・陰線?			ハイローバンド	周期			前日	以上										

過去データによる合格銘柄数とタイミング



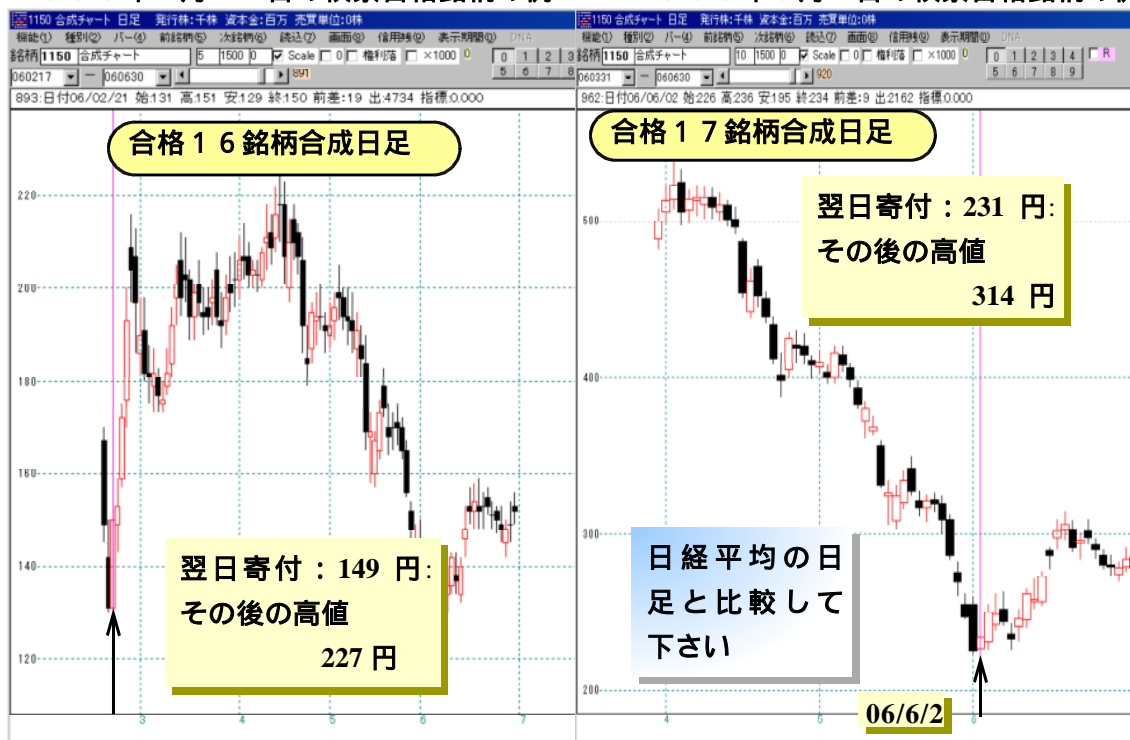
確率検証：この方式で合格した銘柄を翌日の寄付きで買ったとして120日（6ヶ月）以内にどの程度上昇するかを下記の期間検証しました。



平均上昇率74.19%、うち67%が平均114%（倍以上）6ヶ月以内に上昇しています。まずまず有効な検索条件といえましょう。

2006年2月21日の検索合格銘柄の例

2006年6月2日の検索合格銘柄の例



（ただし、売買単位1株の銘柄のみ）